



- 5月会議 6月会議 ..... P2・3
- 一般質問（13名） ..... P5～17
- 要望書・自治会長との懇談会 ..... P18
- 選挙公報にかえて ..... P19～23
- 表紙の説明・編集後記 ..... P24

### 雨にも負けず風にも負けず!!

#### 【表紙の写真】

日曜、祭日を除く毎日、朝8時10分～15分頃、本間さんが愛犬コロを伴い自宅を出ると元気な中年女性が二人、三人と町内の道路に出て来られ「おはよう」の声掛け確認しながら5～6人程度での仲間達とコロちゃんで自治会内を散歩を兼ねながら「今日は何日だったか？」の問いかけ。毎日同じ質問らしいが、玄関口での立ち話から「ちょっと歩こう」と外に出ることを促して、近くのお年寄り宅まで、ゆっくりと歩いて、また玄関で「ピンポーン、元気してた！」の声掛け！宅内のお年寄りは、待っていたかのようにに南側の日当りの良い居間の掃き出し窓を開けて「おはようございます。待ってたよ」の返事。見守りグループの一人が「あら、



見守り隊発起人の本間さん（左側）とコロちゃん



季節に係らず見守り続ける

今日はよく似合いの物を着ているね」の会話から世間話へ。（健康の話やごく普通の会話。またお茶飲み会に誘う話）縁側に腰を下ろし、用意していたお茶と駄菓子を進められながらしばしの会話。「じゃあまた明日ね」の声を残してまた散歩コースへ戻りゆっくりと歩いていく。（見送ったお年寄りもうれしそうに手を振っておられた）約40分程の決まったコースらしく「今日あの人顔色よかったね」等々車に注意しながらコロちゃんと見守り続けておられる。途中コース内の住宅、植木の手入れ水やりの年配の方やブドウ畑の中から声が掛かったり、また参加の呼びかけやお茶飲み会の誘いやらかな人気が嬉しい。



自治会内のお年寄り住まい数件に毎日声掛けをしています。

### 編集後記

新体制で取り組んだ議会だよりですが、皆さんの手元に届くのは夏土用の最中。暑い中読んでもらえるか心配しながら汗だくで編集しました。

議案の上程から表決まで、議会の流れが少しでもわかってもらえる紙面づくりを心がけたつもりですが、文字離れの一層進む昨今、まんがやイラストが得意で紙面づくりに協力してもらえらる方は事務局に一報を。

生前の意思表示（リビング・ウィル）を前にして考え込んでしまった。6項目にチェックマークを付けるだけなのに。わが身の「終末期の医療方針」を決めることへの迷いがこんなにあるとは。（茂）

|           |       |
|-----------|-------|
| 発行責任者     |       |
| 議長        | 大島 孝司 |
| 議会広報常任委員会 |       |
| 委員長       | 小林 茂  |
| 副委員長      | 山岸 裕始 |
| 委員        | 中村 雅代 |
|           | 福島 浩洋 |
|           | 川上 健一 |
|           | 小林 一広 |



# 5689万円の補正を可決

## 6 月会議



かねてから申請のあった中町自治会の獅子頭と押羽自治会の神楽太鼓に対して宝くじ助成金が確定。

コミュニティ助成事業補助 390万円

平成27年度 6 月会議は、6 月 1 日から12日の12日間の日程で開催しました。一般会計補正予算の歳入歳出それぞれ5688万8000円の追加を可決しました。

請願 2 件と陳情 1 件を採択し、意見書を付して国会・関係行政庁に送付しました。

### 留学体験を中学生グローバル合宿へ変更

+24万円

昨年までの福島県一泊二日の国内留学体験をHLAB OBUSEの中学生版として、菅平の須坂青年の家で二泊三日の合宿を行い、英会話実践とワークショップに事業内容を変更。35名募集の予定。事業の総額143万円



平成27年度一般会計補正予算  
請願 2 件・陳情 1 件

くだもの街道の舗装修繕 5000万円  
町道406号線（通称くだもの街道）のライスセンターから南側500メートルの舗装修繕を町づくりに交付金2160万円、町債2550万円と一般会計で行う。



○賛成 ●反対 - 議長は裁決に加わらない

| 本会議で賛否が分かれた議案 |                                                   | 中村雅代 | 福島浩洋 | 富岡信男 | 小西和実 | 川上健一 | 山岸裕始 | 小林茂 | 小林一広 | 小淵晃 | 渡辺建次 | 関谷明生 | 関悦子 | 小林正子 | 大島孝司 |
|---------------|---------------------------------------------------|------|------|------|------|------|------|-----|------|-----|------|------|-----|------|------|
| 請願            | 年金積立金の専ら被保険者の利益のための安全かつ確実な運用に関する意見書（決議）の採択を求める要請書 | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ●    | ○   | ○    | ○   | ○    | ○    | ○   | ○    | -    |

小布施町議会は委員会中心主義の議会です  
議案に対する委員会での質疑と議員間討議→討論→審査結果の報告（要旨）

### 総務産業常任委員会の審議

### 政策立案常任委員会

#### 一般会計補正予算

■歳入歳出予算の総額に5688万8千円を追加し、年間予算の総額を44億8988万8千円とする補正予算の委員会審議の主な内容は。

##### ◎総務費

◆コミュニティ助成事業補助(自治宝くじ助成金) …390万円

Q 自治会の希望を取っているのか。

A 制度は自治会長会議等で説明し、希望する自治会が申請している。

##### ◎土木費

◆町道補修工事……………5000万円

Q 起債を起こした理由は何か。

A 起債の4割に後年度交付税の措置があり有利である。

##### ◎教育費

◆留学体験事業……………△119万円

◆中学生グローバル合宿事業……………143万円

Q 留学体験事業を止め、グローバル合宿事業に組み換える事どのように総括したのか。

A 福島へは移動時間等に課題があった。留学体験と同等の効果が得られると判断した。

◆コミュニティ施設整備事業……………32万円

◆コンピューターリース料……………243万円

◆エンゼルランドセンター利用料……………△12万円

質疑終了後、全議員による討議・討論を行い、委員以下採決は全員挙手で原案可決。

※各項目で千円の位を四捨五入したため、総額と内訳が一致しない場合がある。

#### 請願 2 件・陳情 1 件

◆請願第1号義務教育費国庫負担制度の堅持を求める請願書

《請願者》連合長野高水地域協議会須高地区連合会  
会長 小林君男

委員会・全員賛成、本会議・全員賛成で採択

◆請願第2号年金積立金の専ら被保険者の利益のための安全かつ確実な運用に関する意見書（決議）の採択を求める要請書

《請願者》日本労働組合総連合会長野県連合会  
会長 中山千弘

◇願意は、昨年10月政府が一方的に損失危険が高い株式や外国の債券等の運用割合を高めてしまいました。被保険者・受給者が被害を被ることがないように、年金積立金管理運用独立行政法人に対して、安全・確実な運用と、責任所在の明確化、保険料拠出者等が参画して合意形成体制等の構築を求める意見書を議会が提出することを求めるものであります。

委員会・全員賛成、本会議・賛成多数で採択

◆陳情第1号T P Pに関する国会決議の実現を求める陳情書

《陳情者》J A須高 代表理事組合長 牧 良一  
委員会・全員賛成、本会議・全員賛成で採択

町議会対応 請願 2 件、陳情 1 件は、意見書の提出を求めるものでありましたので、衆・参議院議長、内閣総理大臣、関係大臣へ、議長名で意見書を発送いたしました。

# 新体制でスタート

## 5 月会議

### 議長就任挨拶

4 月に実施された町議会議員選挙後の初議会において、議役職の選挙・選任が行われ、議長に大島孝司議員、副議長に関悦子議員が選出されました。尚、常任委員会や議会運営委員会の委員、監査委員等も選出されました。

小布施町議会議長 大島 孝司



改選後初となる通年議会を開会し、正副議長他、議会構成を決定し、議長に就任致しました。先の町議会議員の選挙においては2期連続で無投票になりましたが、早速、議員定数等検討特別委員会を設置して、町民の皆様の意見をお聞きしながら議員定数を検討していきたいと思っています。当議会は通年議会をはじめとして、反問権、議会基本条例、議員間討議、政策立案常任委員会等々、全国に先駆けて議会改革を行ってきました。「議会は町民のためにある」を基本理念として、更に議会改革を進めてまいります。現在の地域でもそうですが、少子化、高齢化、人口減少、環境問題、教育問題、経済の低迷、道州制等々、問題が蓄積しています。全ての問題に対し真剣に取り組んでいく必要があります。当町の更なる発展のため全力を尽くしていく決意を申し上げ、議長就任の挨拶いたします。

#### 政策立案常任委員会

委員長 小淵晃  
副委員長 小西和実  
委員 小淵晃、小西和実、関悦子、関谷明生、渡辺建次、富岡信男、大島孝司

#### 社会文教常任委員会

委員長 川上健一  
副委員長 福島浩洋  
委員 川上健一、福島浩洋、富岡信男、小林一広、小林茂、関悦子

#### 総務産業常任委員会

委員長 大島孝司  
副委員長 関悦子  
委員 大島孝司、関悦子

#### 議会広報常任委員会

委員長 小林茂  
副委員長 山岸裕始  
委員 山岸裕始、中村雅代、福島浩洋、川上健一、小林一広、大島孝司

#### 議会運営委員会

委員長 小林一広  
副委員長 小淵晃  
委員 小林一広、小淵晃、関悦子、川上健一、小林正子

#### 監査委員

委員 関谷明生

#### 一部事務組合議会議員

◎須高行政事務組合議会議員

大島孝司

◎北信保健衛生施設組合議会議員

小林正子

◎長野広域連合議会議員

大島孝司

◎高山村外一市一町財産組合議会議員

関悦子

川上健一



**Q** 新しい時代にふさわしい「日本の地方の未来像」を描くことを目指して、全国から若者が集い、これからの地方や日本の未来を議論する「小布施若者会議」が四年目を迎えます。

若者の視点やアイデアを小布施のまちづくりに積極的に活かすとともに地域を超えた新しい協働につなげていく試みで、多くのメディアにも取り上げられ、参加した若者たちが各地に戻り、新しい町づくりに取り組んでいることも紹介されています。しかし、町の中には「何をしているのかよく分からない」という率直な声も聞かれます。

未来ビジョンを描くときは若者の持つ新しい価値観、発想力、行動力に真剣に耳を傾けることが重

**A** (1) 若者による主体的な動きが加速し、町民と参加者が相互に刺激を受け、よい関係性が築かれている。移住や定住



熱心に語り合う若者たち「交流こそ活力」

**Q** 産科、小児科の医師不足が言われて久しい。最近も町内病院の小児科医の退職や、町に隣接する小児科専門クリニックの閉鎖、また、産科医師の退職でお産の数を制限しているなど、お産を控えたお母さんや小さな子どもを持つお母さんたちにとって大変不安な状況が続いています。

**小児医療の充実と予防接種体制の充実を**  
広域的に医師確保の要望活動を行っていく  
(八代健康福祉課長)

**A** (1) 赤ちゃん訪問や乳幼児相談事業などで不安、要望を聞いている。町内病院の小児科は週三日、半日の診療を確保した。

(2) 須高地域は産科、小児科医の減少傾向である。近隣の市町村と連携をとり、医師確保に努める。

(3) 個別接種が原則。接種は、須高地域と、須高地域以外でも受けることができる。

関 悦子 議員

## 次世代の更なる育成を（若者会議の理解と今後の対応）

### 答 過去二回の成果を踏まえ、更なる充実に努める

(市村町長)

要であります。

(1) 過去三回の若者会議の成果は。

(2) 今年度の開催にあたり留意点と新しい試みは。

(3) 今後「若者会議」をより理解してもらうための対応は。

の促進にも寄与すると考える。

(2) レベルの高い広い視野と、若者の感性により実行委員会を組織して構想づくりに入る。

(3) 商工会青年部の方々の参加をはじめ、大勢の町民が参加できる会議を目指していく。

また、予防接種は個別接種に変わり、小児科医不足が続く現状において影響が懸念されますが。

(1) 町は小児科受診に対する不安や要望を把握しているか。

(2) 産科、小児科医の現状と今後の在り方をどのように考えるか。

(3) 現在の予防接種体制をどのように考えるか。

ここが聞きたい？

## 6月会議 一般質問

### 目次

|                                            |    |                               |    |
|--------------------------------------------|----|-------------------------------|----|
| 関 悦子                                       | 5  | 小西 和実                         | 11 |
| ①次世代の更なる育成を                                |    | ①国道403号整備の展望は                 |    |
| ②小児医療の充実と予防接種態勢について                        |    | ②定住促進施策の成果は                   |    |
| 小 淵 晃                                      | 6  | 関谷 明生                         | 12 |
| ①もう一歩前へ進めよう、若者の定住促進策を                      |    | ①町議選無投票当選回避の手立てを              |    |
| ②北陸新幹線の金沢延伸と小布施観光の対応を                      |    | 福島 浩洋                         | 13 |
| 小林 一広                                      | 7  | ①今年度の防災対策は                    |    |
| ①今年3月2日大規模停電による課題と必要な対策は                   |    | ②生活灯の増設や照度の向上を                |    |
| 小林 茂                                       | 8  | ③東京小布施会存続の対策は                 |    |
| ①信州型自然保育の認定対応は#                            |    | 小林 正子                         | 14 |
| 山岸 裕始                                      | 9  | ①松川県営住宅の今後の利活用は               |    |
| ①「地域版総合戦略」はどのような方針で策定していくのか                |    | ②町内道路の安全対策については               |    |
| ②当初の計画の通り実行できない、また成果が出ない事業の振り返りはどのようにしているか |    | ③戦後70年の節目にあたり町の考えは            |    |
| 富岡 信男                                      | 10 | 中村 雅代                         | 15 |
| ①雨水対策について                                  |    | ①子育て環境の充実は                    |    |
|                                            |    | ②人事評価制度の導入は                   |    |
|                                            |    | ③観光施設の整備は                     |    |
|                                            |    | 渡辺 建次                         | 16 |
|                                            |    | ①町民目線の選挙とは                    |    |
|                                            |    | ②若者にとって魅力ある小布施町とは             |    |
|                                            |    | ③新規就農者の自立のために                 |    |
|                                            |    | 川上 健一                         | 17 |
|                                            |    | ①新たな教育委員会制度で町の教育行政はどのように変わるのか |    |
|                                            |    | ②子供を安心して産み育てることの出来る環境の整備は     |    |
|                                            |    | ③これからの小布施町の農業振興策は             |    |

## 議員定数等検討特別委員会を設置しました。

小布施町議会では、この度の無投票における議会議員選挙を踏まえて、議員定数等検討特別委員会を設置いたしました。前回選挙（平成23年4月）に引き続き2期連続の無投票選挙となりました。この結果を小布施町議会として重く受け止め設置いたしました。概ね二年を目途に議員定数、議員報酬、政務活動費等を特別委員会として検討していきます。その間、広く有権者である住民の皆様のご意見をお聞きたいと思いますので議会事務局にお寄せ下さい。



「特別委員会」とは？

特定案件を審査するために、2個以上の常任委員会に通ずるもの、又は特に重要な案件であって、特別の構成員により集中的に審査する必要がある場合等に設置できる。

構成委員（六名）  
委員長・関 悦子（副議長・三期）  
副委員長・川上 健一（二期）  
渡辺 建次（三期）小林 正子（六期）  
小西 和実（二期）福島 浩洋（一期）  
連絡先・議会事務局（直通）026-214-9112





小淵 晃 議員

## もう一步前に進めよう・新規定住の促進策を

### 答 関係者の協力を頂き、全力で取り組みます

(市村町長)

Q

中扇地区の空倉庫を町が借上げて、新規就農者6名に農業倉庫兼作業所として貸与する「新規就農の館」が開設された。これにより「アパートに住んでも農業ができる」全国でも画期

的な施策で、新規就農者は小布施で農業者として家族と定住できる確信を持ち、この町に貢献をした

いと感謝の想いを語っていた。

○これからは大勢の新規就農者の受入れが可能となり、併せて、若

い世帯の「イターン・Ｕターンの更なる取り組みを。

○若い定住希望者は、緑の環境での子育てと、人と人とのふれ合いを期待している。

○若者会議の1泊は、各公会堂で、地元の方と交流を。

○町民運動会は町外の人の「特別チーム」の参加も。

意欲のある若い人の新規就農者は、町

農業の活性化につながります。また、若い世帯の定住

す。



若い農業定住者の砦「新規就農の館」

に向けて、子育て環境の更なる充実を進めます。

しかし、行政だけでは支援は限界がありますので、民間の皆さんの力をお借りして「オール小布施」の体制で対応します。

北陸新幹線の金沢延伸と、小布施観光の対応

町の新たな魅力を生かし、交流を進めます (竹内産業振興課長)

3月14日の北陸新幹線の金沢延伸で、北陸との往来

が多くなった。

善光寺御開帳の参拝者は70万余人で前回より5%増で北陸新幹線の効果がありました。

しかし、小布施観光の中核の北斎館の入館者は、3万7千人で7年前の御開帳時より35%減で新幹線効果が反映されなかった。

○小布施観光は来訪者のニーズに応えきれない面があるのでは。

○町観光は北斎館と連携して北陸地方へのPRの強化を。

○小布施観光は先人の築いた遺産を活用している現状、将来への観光資源の創出を。また、小布施観光のスタート時の先人の想いを学ぶ場の設定を。

「栗と北斎と花のまち」と「おもてなし」を、より

磨き交流の拡大に努めます。

今秋は「栗祭り」を準備中、千曲川の桜堤、ウォーキング、農村景観、食文化等を組み合わせ新たな魅力づくりを進め、多様化するニーズに応えます。

小布施観光の原点での想い・ご苦勞を若い世代につなぐための努力をします。



災害時に役目を果たす庁舎に

Q

今年の3月2日に東信・中信・北信地方で、しかも早朝の、まだ薄暗く寒い時間帯に38万戸に及ぶ大規模停電が発生してしまいました。原因は塩尻市内の高圧送電線が雪と風の影響によ



小林一広 議員

## 3月2日・大規模停電による課題と必要な対策は

### 答 課題となつていいる事態を検証し、対応について検討する

(田中総務課長)

り非常にまれな「ギャロッピング現象」によりショートしたことにより

ります。今や電力に頼り切った社会の仕組みになっており電気がつかない。テレビが見られないた

め情報も入らない。今の家庭は電気による暖房機がほとんどのため

暖をとれない状況におかれました。

「何時復旧するのだろう。」「原因は何だろう。」と誰もが思った

のではないのでしょうか。

私も状況把握のため早朝の庁舎へ行ってみましたら定刻業務の開始準備のため副町長以下数名の職員が真剣な様子でした。

○緊急時の対策は十分であったのだらうか。

○幼稚園・保育園・小学校・中学校と問題がないのだらうか。

○住民への影響はどの位あるのだらうか。

この大規模停電で実際に見つかった問題点、課題は何か。その対応、対策をお聞きます。

停電から5、10分で防災担当者・宿直、私で対応を始めた。停電からおよそ30分後に中電より連絡があり「大規模な停電である事、原因不明であり、復旧にはしばらくかかる事」を同報

無線により放送しました。その後、会議を行い、行政経営部門に情報を集積し、随時、同報無線で流すようにしました。

第一の課題は住民の皆さんとの情報の共有が遅れたこと。中電との連絡が取れず状況の把握が取れなかったこと。(その後、中電とのホットラインは整備された。)

第二の課題は、いつ緊急体制に移

行すればよいのかであった。第三の課題は、インターネットの不接続。暖房器具の不作動。下水道配管の満水対応等の検討課題が上がった。

信号が灯火せず、警察の方の手旗信号による誘導を行った。また、家族が勤務のため残される三人のお年寄りを避難させていただいた。

今回の大規模停電を教訓に、課題となつていいる事態を検証し、対応について検討していく。

水源は電力に頼っておりありますがどの様な対応か。

中電には移動電力車もあると情報をいただいているが実際に何台調達できるかは未定です。給水車での対応は想定済み。あらゆる災害に対応できる手だてを講じていく。





小林 茂 議員

## 「信州型自然保育」の認定対応は

**答** 大きい効果と認識、慎重に検討する

（池田教育次長）

子育て先進県ながのを実現するための「信州型自然保育認定制度」は、子どもの屋外での自然体験活動を週15時間以上行う「特化型」と、5時間以上の「普及型」の二種類で指導経験のある保育士や幼稚園教諭、安全管理に関する専門

講習を受けたスタッフがいること等を基準に挙げているが。

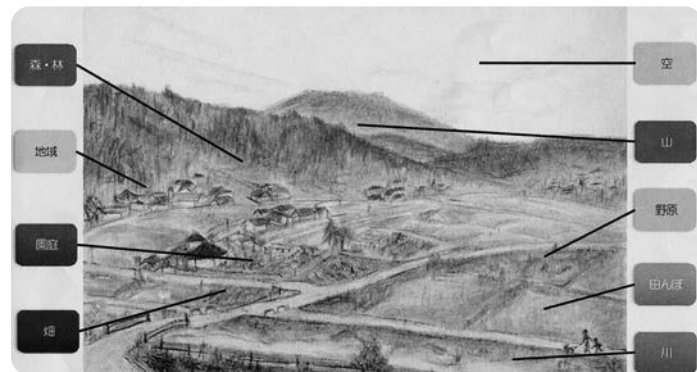
**Q** 「信州型自然保育」を町はどのように評価し、導入によるメリットまたはデメリットはどんなことが考えられるか。また、取り入れる場合、園によつて違いがあっても良いと思うがどうか。

**A** 自然保育は大きい効果があると認識している。従前より、町の豊かな自然環境や伝統文化なども含む地域資源を有効活用して、様々な取り組みをしている。認定のメリットを検証した中で判断していきたい。現在ある幼児の教育保育施設は町が運営主体なっていることから、「信州型自然保育」の認定を受けるとすれば、すべての園や施設で申請すべきと

考えている。

**Q** 幼保小中一貫教育の中で切れ目のない自然保育をどのように結び付けていくのか。また、園庭以外の自然保育の場所は、具体的にどんな所を考えているか。

**A** 一貫した教育カリキュラムの中で自然教育をテーマに取り組むことにより環境問題や農業問題などにもつながり、郷土愛や人間愛など情操を育む教育につながるものと思われる。園庭以外の自然保育の候補



「信州に広がる自然のフィールド」この豊かな自然環境や地域資源を積極的に取り入れた保育の普及を図ることで「子育て先進県ながの」を実現することが目的

**A** あると認識している。従前より、町の豊かな自然環境や伝統文化なども含む地域資源を有効活用して、様々な取り組みをしている。認定のメリットを検証した中で判断していきたい。現在ある幼児の教育保育施設は町が運営主体なっていることから、「信州型自然保育」の認定を受けるとすれば、すべての園や施設で申請すべきと

**A** 一貫した教育カリキュラムの中で自然教育をテーマに取り組むことにより環境問題や農業問題などにもつながり、郷土愛や人間愛など情操を育む教育につながるものと思われる。園庭以外の自然保育の候補



多様な自然環境を活かした活動を通じて、知的好奇心や感性が豊かに育まれ、自尊心や自己肯定感の向上が期待できます。（信州型自然保育ガイドより）



山岸裕始 議員

## 『地域版総合戦略』はどのような方針で策定していくのか

**答** 町民の皆さんからご意見を伺い小布施独自のものを仕上げていく

（西原企画政策課長）

**Q** 政府は2014年末、まち・ひと・しごと創生に関する「長期ビジョン」と「総合戦略」を閣議決定し、地方自治体は、地方版の総合戦略をつくることが求められています。

小布施町でも「地域住民生活等緊急支援のための交付金」を財源として昨年度の3月「地域版総合戦略策定費 1,000万3千円」が可決されました。

しかし、様々な専門家が『全国で1,700を超える市町村と47都道府県が一斉に同じひな型で「総合戦略」をつくって、どんな国の姿になるのだろうか。』との指摘をしています。

過去から小布施町が全国的にまちづくりが認知されるようになったのは「行政主導ではなく」「官民一体

型」で行ってきたからです。

町並み修景事業に代表される「小布施町のことが分かる地域の司令塔」が中心となり、町民の知恵を絞り試行錯誤した結果であるためと考えています。

今回の「地域版総合戦略」をつくるにあたり、町民の声をどう反映させていく予定か町の考えを聞かせてください。

**A** コンサルタントに丸投げするのではなく起草は町民の皆さんの意見を十分に伺い職員が行う。

中学、高校の皆さん、転入転出された皆さん、すべての町民の皆さんから無作為抽出によりアンケート調査を行う。モデル地区の自治体の皆さんには話し合いの場を設けより深くご意見を伺い小布施独自の戦略に

仕上げていけることと考えている。



オープンガーデン等町民と一緒にまちづくりを進めてきた

当初の計画の通り実行できない、また成果が出ない事業の振り返りはどのようにしているか

定期的に事務事業のヒアリングの実施、人事評価制度の導入をしていく  
（久保田副町長）

**Q** 小布施町は町民のための計画を立案して実行しています。

しかし、事業によっては当初の目的が果たせていない事業もあります。

予定通りいかない事業に対して、次回は達成できるように検証をする、また達成ができない場合に内部の誰かが責任を取るようにしていただきたいですが今後の考えは。

**A** 事務事業の執行について適正に行っているが今後は一定の時期に事務事業のヒアリングを実施したい。

責任については、職員育成という点を含め実施できなかった原因を分析克服し、自ら考え問題を解決していくようにする。

そのために人事評価制度を来年の4月から行う。当町の人事評価制度の構築はこれからだが、制度の構築により、事務事業のPDCAサイクルの構築を、一層確固としたものにしていく。





富岡信男 議員

Q

今年も間もなく梅雨、台風襲来の時期を迎えます。町内の河川整備を早急に進めないと豪雨による被害が町内で多く発生することが予想されます。

町内の排水整備は現在の計画で対応できるということです、公

## 国庫補助・起債を活用し早急な水路改修を

### 答 町民の皆さんのご意見をお聞きし実施したい

（畔上建設水道課長）

共下水道事業による早急な整備に取り組むべきと考えます。公共下水道事業で実施すると、国庫補助金、起債発行も可能となります。

公共下水道事業を導入した場合には、国庫補助金が2分の1、補助金残高の全額が起債借入れ可

能で、四割弱が交付税措置されまですの、町の負担は事業費の3割位で済みます。

起債については、無計画な借入れにより破たんした自治体もあり、借り入れに慎重な意見も聞かれますが、起債の果たす役割とし

て、財政支出と財政収入の年度間調整、住民負担の年度間公平のための調整、一般財源の補完機能もあり、下水道事業については、元利償還金について交付税措置もされます。

北岡押羽雨水幹線の整備を昨年度から実施していただいています。昨年度管理用道路の整備、本年度から河川改修を行っていく予定になっていますが、計画延長500メートル強で、年間30から40メートル整備していくことなのです

で、完成までに15年かかる計算になります。国の補助金、起債を有効活用して早急な水路改修等を進めるべきと思いますが、考えを聞かせてください。

A

雨水排水事業の認可を取って事業を実施することにより事業期間を短縮できることはわかっていますが、補助事業で実施しても起債の償還など多額の町負担が発生し、今後の財政に及ぼす影響が大きいことから、町全体の水路整備を長期的展望に立って順次整備してきています。

国庫補助金の活用・起債借入れにつきましては、水路改修全体計画を町民の皆さんにお示しし、ご意見をお聞きする中で検討していきます。



早期完成が待たれる北岡押羽幹線改修工事

## 国道403号整備の展望は

### 答 来年度以降、用地取得に着手予定

（畔上建設水道課長）

Q

国道403号の道路整備以外にも小布施町としての

舗の活性化」という観点が必要であると考えます。

周辺の整備及び駅から北斎館付近の中心部までの沿道の店舗等の活性化なども重要であると考えられる。403号という道路だけでなく「まち並み」に一貫した流れ、雰囲気、デザイン性を生み出していくためには、「修景及び空き店

A

7月に沿道関係者に整備計画の説明をし、計画の定着を図り用地の意向確認を行う。来年度以降に用地取得に着手予定である。

### 定住促進施策の成果は

着実に上がりつつある

（西原企画政策課長）

Q

平成24年度からこれまでの3年間、定住促進という課題に対して多額の費用を費やしてきた。毎年10名程度ずつ定住者を増やしていくという計画であると定住促進の構想を説明されていたが、新規就農者を除くと平成24年度は2件5名、平成25年度は2件4名の移住に留まっている。

この6月会議の町長の開会にあたってのあいさつの中にも、定住

A

定住促進施策の成果は着実に上がりつつあり、一部の数値だけでは計り知れない効果が出ていると考えている。例えば、小布施町で生まれたお子さんが、小学校へ入学時には20、30人増えています。今後の計画と展望は「地方人口ビジョン」と「地方版総合戦略」を策定し「第5次町総合計画後期基本計画」との整合性を図り定めていく。



閉じるお店もあれば、新たなお店も

さらに前進させることにつながる」と記している。長野県須坂建設事務所と5月18日に打ち合わせを行い、昨年度県で実施した現況測量・実施計画等により作成された計画案を関係者に説明し地権者へ用地確認を行う予定と述べている。今年度、4月から2か月が経過した現在では実際の計画の詳細なスケジュールはどうなっているか。





関谷明生 議員

## 町議選無投票当選回避の手立てを

### 答 先ずは二元代表制の議会として総意の結集を

(市村町長)

Q

住民の代表を選挙で選ぶ機会が失われることは、民意を反映しない、ないしは民意な

き状態で住民自治の根幹に関わる深刻な問題です。町民の洗礼、信託を受けた議員が議会で発言してこそ意義があり、発言の重みも違います。2期連続無投票当選になった現実をどのように感じておられるか。議員定数改訂の必要性は。

に關わる環境整備を図ることが必須である」との見解から町特別職報酬等審議会に19万円を30万円とする案を諮問しました。答申は23万円でしたが27万円を議会に提案し賛成多数で可決。長崎県の小値賀町議会(おぢかちょう)は地方創生総合戦略策定に向け、若い世代が地方政治に関心を持ち、携わり、知恵を出していただくため、若い方々の町議会議員選挙への立候補を促すため子育て世代の収入の確保も必要と考え、50歳以下の議員に限り議員報酬を18万円から30万円にするという特例条例を議員発議で提案し全会一致で可決しました。これらの対応をどのように思いますか。

報酬等審議会に諮問しており基本的にはご審議いただいて得た答申に従うべきであると考えます。個人の思いとして申し上げることは可能であり、これからも申し上げていきます。

Q

第三者による議員定数、報酬等の検討委員会の設置は。公職選挙法第百条で無投票が規定されているが信任投票の実施は可能か。

A

検討委員会は議会を中心  
に立ち上げていただくことが必要と考えます。当選人の信任投票は法律に規定はなく当選を果たした議員に対し信任を問う行為は僭越で実施は考えていません。様々な課題に議会としての総意を結集して町民の皆さんに提案していただくことが先決と考えます。



議案を審議し採決する議場

Q

群馬県みなかみ町では町長が「全国的に議員に立候補する住民が少なくなっている。いろいろな人が町づくり

A

二つの議会は小布施町議会と同様、活発な議会と承知しています。議員報酬は特別職報酬

A

議会の独立性を考えるととき所感は僭越であります。議員定数改訂は控えさせていただきたく思います。

## 今年度の防災対策は

### 答 ひとつひとつの事例に対し対策を、あるいは備えを固めてまいります

(田中総務課長)

Q

海水温度が非常に高く例年がない台風の多発生が予想されるが、当町では最近どのような被害の記録が残されているのか特に最近のゲリラ豪雨による床上浸水及び田・畑・道路の冠水

または突風・強風による建物や農作物の被害が予想されるが対策は万全なのか具体的に伺いたい。

A

本年度は溢水の激しい北部水路と矢島水路と上流部では松村水路の改良工事を行います。

A

現在約1、100基の生活灯があり自治会で管理いただいている。農道や畑など住宅が離れている所は三者で検討致します。何時でも相談をお受けいたします。



灯りが、ほしい道路

A

会の存続の為に積極的に支援したい。町と町関係者等を通じ同窓会他への呼びかけをお願いをしている。今後も継続すると共に町に愛着を持っていらっしゃる皆さんへ更なる呼びかけを行いたい。



たちまち冠水する町の道路

Q

小布施駅・都住駅から夜遅く自転車或いは歩いて狭い農道を帰宅する若い女性や女子

### 生活灯の増設や照度の向上を

設置要望には、何時でも相談をお受けいたします

(八代健康福祉課長)

Q

今年も11月6日に第28回東京小布施会が開催されますが若い人達の参加の為の更なる

### 東京小布施会の存続を積極的に支援したい

(竹内産業振興課長)





小林正子 議員

Q

安倍首相は「平和」の名を冠して戦争する国づくりの「戦争法案」を進めている。武力による威嚇さえ禁じた9条に違反し、最高裁が違憲立法審査権により差し止めるべき法案。自衛隊がアメリカ軍の手足となつて殺し殺されることになり、命を産み育む女性として戦争の臭いのする法案を許せません。小布施町でも反対世論が高まっています。小布施町の長として反対を表明していただきたい。

A

国会での十分な議論に期待し、意見表明は控えたい。

Q

憲法学者の多くは違憲としている。99条の公務員の憲法擁護義務の規定もある。地方自治体は国の下部機関ではなく対等。国政にも意見を表明すべきです。

A

法案賛成議論もたくさんあることを承知しており。表明は控

「平和、安保法案」は戦争する国づくりの「戦争法案」町民の平和な生活といのちを脅かします。反対の表明を  
答 十分な議論に期待し、反対の表明は控えたい  
(市村町長)

Q

小中学校で平和教育は大切、戦争体験者の体験談も。

A

(池田教育次長) 松代大本営跡見学など、学校・社会双方向

栗木ブロック歩道全廃、通学路安全確保を

土色歩道へ順次打ち替えます

Q

共産党小布施支部アンケートから◆「駅前栗木歩道で転倒ケガ」「生活道路の栗木は止めて」の声多い。栗木歩道は全廃を◆見えにくいカーブミラー改善と新設◆通学路で狭い危険箇所、30キロ速度制限や通学路帯表示したカラー歩道など安全対策を。

A

◆條然松周辺町並修学事業地の他は土色歩道へ替えていきます◆安協支部に春秋二回ミラー点検をお願いし、町が修繕。連絡いただければ随時対応◆通学路安全協議会で改善に



松村にあるカラー歩道

Q

大島の通学路帯カラー歩道はすぐ可能ではないか。

A

現地を確認・検討し、可能であれば実施していきます。

で進めている。体験談についてもお願いしていきます。

住民の声も交えて県住の利活用を  
町営移管で県と調整中  
(畔上建設水道課長)

Q

松川県住は募集停止で空き室が増えている。若者定住、自宅を管理しきれない高齢者、低所得の方、災害避難など、低家賃の公営住宅は今後必要度を増す。町営移管で利活用を。

A

44戸中16戸が空き室。県は50戸未満の小規模団地は廃止、希望あれば市町村に移管の方針。町は新規就農者向け住宅など検討、県と調整しています。

Q

県住居住者は県住の将来を心配している。住民を交えての検討会にすべきではないか。

A

一定の方向性がでた時、入居の皆さんに県と一緒に説明します。

子育て環境の充実(保育士の配置基準改善等について)

答 町の重要施策と捉え改善検討に努める

(池田教育次長)



中村雅代 議員

Q

幼稚園保育所における環境①保育士の配置基準・3歳児の職員配置の改善(現行20対1↓15対1)に関する予算が2015年度地方交付税措置されているが、実施の予定はどうか。

②保育士等の待遇改善と人材確保を進めるための施策の現状はどうか。

③認定こども園化に向けた幼稚園改

A

修工事の施設・設備の進捗状況は。

地方交付税の措置について

て算定上の取り扱いが未だ公表されていない現状なので、国・県の動向をみながら、今後3歳児の職員配置の改善に努める。子育て支援の充実が町の重要課題と捉え小布施町ならではの幼児教育に努める。経験豊富な保育士人材の離職を防止するなど、休憩が取れるよう労働環境等の改善検討を考える。認定こども園化に向けた保護者への説明会を6月10日に実施し工事など理解協力をお願いした。設計は業者任せにはせず現場の職員と検討し最善の施設の整備を目指していく。

Q

来年の4月からの義務化に向けての内容と試行の予定、また試行しての課題をどのように解決し、本格実施するのか。

A

職員ひとり一人が達成すべき目標を明確にした上で能力・業績を評価します。評価により、能力や意欲が一層高まり、組織力が向上し、最終的に住民サービスの土台をつくれる制度の導入を図ります。

観光施設の整備は

既設のトイレの利用を呼びかける(畔上建設水道課長)

Q

ハイウェイオアシスの階段下(おぶせ物語向かい)屋外トイレの増設に合わせて改修の予定はどうか。5月の連休に大勢の観光客が立ち寄り、数が少ない、臭



トイレ数が少ない

A

レストランや他の施設のトイレ利用も可能であることを案内板等で周知し、先ずは既設のトイレの利用を呼びかけ対応する。清掃は徹底されているが室内の換気や排水に不備等ないか点検し対処する。



6・10保護者説明会開催

人事評価制度の導入内容  
試行を実施し4月導入を目指す  
(久保田副町長)





渡辺建次 議員

## 町民目線の選挙とは

**答** 公設掲示場のポスターは撤去の必要はありません  
(田中総務課長)

**Q** 各種の選挙における投票率の著しい低下が問題となっている昨今、町民が投票し易い環境を整えるためにはどうすればよいのかの観点からの質問です。

**A** 20代34・15%、30代48・46%、40代59・66%、50代66・10%、60代74・14%、70代72・44%、80代41・98%となっています。

**Q** 期日前投票の設置場所の選定基準、投票所を増やすお考えは。また、期日前投票率について伺います。

**A** 選定基準は、移動距離と面積規模等で、北斎ホールを投票所としています。

期日前投票所を増やす考えはありません。

いずれの選挙においても、期日前投票率は10%前後で、はつきりとした投票傾向はありません。

**Q** 選挙用ポスターの掲示について

①現在の掲示場はいつ頃からどのような基準で決定されたのか。

②選挙期日後のポスターの撤去はどのようにすべきなのか。

**A** ①現在のポスター掲示場は(31カ所)、平成11年4月11日の県議選から実施。設置基準は、投票区ごとの選挙人名簿の登録者数や面積人口密度、地勢、交通等を総合的に配慮して、町民の皆さんの見やすい場所に設置しました。

②町の公設掲示場31カ所に貼付した選挙ポスターは、公職選挙法上撤去しなくてよいことになっています。

若者にとって魅力ある

小布施町とは

30代・40代の方々の転入がポイント(西原企画政策課長)

**Q** 直近の小布施町の転出入の状況とその理由について伺います。

**A** 近年は転入者が転出者を若干上回っています。転入の主な理由は小さな子どもの成長にあわせたもの、転出については、進学や就職等によるものと想像されます。

**Q** 転出入の理由から見える課題と対応策について伺います。

**A** 進学や就職による転出に對しての対応策は難しい問題です。

30代・40代の転出が結婚や勤務先の変更に関係があるとするれば、子ども

もを産み育てやすい環境の整備、子育て支援制度の拡充、土地利用を含めた住宅施策の推進、農業も含めた地域経済の活性化による雇用の確保が求められます。

若い皆さんがお住まいいただくための魅力的な施設も、町内の外周部に造られてきています。

**新規就農者の自立のために**

農業に専念できる環境整備を図りたい(竹内産業振興課長)

**Q** 新規就農者の自立時ににおける目標年収と農外収入のための支援策

**A** 国の基本要綱と町の農業基本構想により、目標年収は250万円です。

農外収入のための支援策は予定していません。

## 新たな教育委員会制度で町の教育行政はどのように変わるのか

**答** 今後教育委員の皆さんと協議・調整し町の教育方針を明確にしたい  
(中島教育長)



川上健一 議員

**Q** 昨年地方教育行政の組織及び運営に関する法律が改正され、小布施町においても本年4月新教育長が任命され、新たな教育行政が歩み始めました。改正法の中では、新たな責任者(新教育長)の設置や教育委員会のチェック機能の

強化、国の関与の見直しなどが盛り込まれました。これにより町の教育行政はどのように変わるのか。

①首長による大綱の策定はどうなっているか。②総合教育会議の設置はどうなっているか。③教育委員会のチェック機能の強化については具体的にどう進めるか。

**A** まだ首長による大綱の策定も、総合教育会議も設置されておらず、出来るだけ早く町長と教育委員会の会議を開き、新たな総合教育会議の要綱の検討と策定をしたい。委員会のチェック機能の強化については、委員の学習会や研修を充実する事で、チェック力を高める。迅速性につい



小布施中学校

①と③須高地域では産科が減少傾向にあり、近隣の市町村と連携し、関係機関へ医師確保の要望をしていく(八代健康福祉課長)

子どもを安心して産み育てる事の出来る環境の整備は

近隣の市町村と連携し、関係機関へ医師確保の要望をしていく(八代健康福祉課長)

**Q** ①須坂病院、北信病院への産科の機能強化及び機能維持の働きかけは。②新生病院に産科の開設は出来ないか。③産科医・小児科医の減少が進む中、今後に向けた対策は立てているのか。

**A** ①と③須高地域では産科が減少傾向にあり、近隣の市町村と連携し、関係機関へ医師確保の要望をしていく(八代健康福祉課長)

これからの小布施町の農業振興策は海外輸出についてはJAと協力し、拡大したい(市村町長)

**Q** ①ブランド戦略の今後は②JAとの海外輸出は。③巨大化するJAとの関係は。

**A** ①現在、新宿高野と進めているが、新たな企業との連携も模索したい。②台湾以外にタイ・マレーシアへの輸出先構築を進めている。③今後もJAと良好な関係を保つ為出来るだけ早くお願いを申し上げる。



# 遅くなりましたが 「私たちは、こんな公約を 掲げて立候補いたしました。」

小布施町は条例で、議会の議員と町長の選挙において、候補者の氏名、経歴、政見等を掲載した選挙公報の発行を定めていますが、今回の選挙は無投票当選のため公報は発行されませんでした。しかし、町民のみなさんから議員の公約が見えない等の声がありますので、遅くなりましたが公約を掲載いたします。

※議席順に掲載しています

※略歴は、4月15日時点のものです

♣ ずっと すみたい 小布施人 ♣

すんすい  
んなけね  
であっ  
い！

住民・行政・議会のハーモニー

♪ 子育て支援  
♪ 福祉・医療・  
介護の充実を  
♪ 若者が定着でき  
る町づくり  
♪ 一人ひとりの  
人権を大切に  
♪ 地域の振興

中村まさよ

(横町・61歳)

無所属



略歴  
須坂東高等学校卒  
長野県保育専門学院卒  
元須坂市役所 保育園・  
児童センター勤務

「私のモットー」  
報告・連絡・相談

行政との調整を諮って  
まいります。

こよなく愛する小布施町に平成24年1月に  
横浜からUターンしました。  
昔からこの町は災害が少ない所と言われてきましたが  
最近の状況はどうもそうは行かない天災が身近に起き  
ております。これが人災に成らない様に皆様と頑張り  
たいと思います。

福島 浩洋  
(六川 70歳)

小布施町議会議員候補者



略歴  
長野工業高校建築科卒  
元(株)熊谷組東京支店参与  
元 鶴見大学財務部参事  
現 小布施町づくり安全部会  
現 小布施町文化財保護委員  
現 東京小布施会理事

## 4月会議で 定住促進と本人通知制度を要望

### 要望書

町民の方や各種団体の方との意見交換からいただいた要望を議会として町に要望しました。

#### 1. 定住促進について

人口は地域活力の源泉であり、賑わいの創出や地域コミュニティを維持していくためにも、若者の定住促進は重要かつ喫緊の課題である。

限られた予算ではあるが、子育て支援や起業支援、就農支援など今までの取り組みを更に充実させるとともに、今年度新たに導入される地域おこし協力隊制度を有効に活用されたい。

また、若者や移住希望者を全面的にバックアップするために、定住支援センターの体制整備と、それを効率よく機能させるソフトの充実を図られたい。

#### 2. 本人通知制度について

全国各地で、住民票の写しや戸籍謄本等の不正請求及び不正取得等による被害が発生していると報告されている。幸い当町においてはまだそのような事例は発生していないが、それを危惧する声があるのも事実である。

個人の情報を守るのは行政の責務であり、今まで以上に個人情報については慎重に取り扱うとともに、住民票の写しや戸籍謄本等の不正請求及び不正取得等による個人の権利侵害の防止を図るために、本人通知制度についての調査・研究に努め、導入に向けた取り組みを進められたい。

## 自治会長と議員との懇談会

平成27年6月4日午後4時から公民館講堂にて自治会長26名と議会議員で小布施町の各地域の抱える問題や議会への要望についての懇談を行いました。

#### ○地域の抱える課題

**A 自治会** 少子高齢化で人口は愕然と減っていくのが予想されるが対策や妙案もない。商店も空洞化してきている。町の行事は参加者が集まらず役員が参加しているという現状。町の行事も見直しが必要な時期では。

**B 自治会** 戸数が減ると自治会費が少なくなる。宅地造成が無理なので今後確実に収入が減っていく、支出は小さい町でも行事は出ないといけないうので抑えられない。会計は厳しい。

**C 自治会** 宅地造成し人が増えている。戸数が多いので分館事業も自治会費も事欠かない。

**D 自治会** 団地の高齢化が進み一人暮らしも多いため、自治会長経験者でボランティアクラブをつくった。冬場の一人暮らしのお宅の除雪やゴミ出し等、社協や民生委員に相談してできる範囲でやっている。

#### コメント

自治会により、区費を下げた自治会、区費が集まらずに役員の報酬を減らして運営している自治会と自治会ごとの問題は様々なようだ。  
議会としても小布施町全体の問題対策と同時に各地区に寄り添った政策の立案が必要になっている。



町での行事も少子高齢化に伴い年々参加者を集めるのが困難なようだ





# 富岡のぶお

(押羽・農業・現町議会議員・65歳)

国全体の人口が減少する中、人口増加策をどう考えるか、自治体間の競争、知恵比べの時代に入っています。特に、若い世代の人口増加策として、

## 特色ある教育の推進

## 子育て支援の充実

が大きな課題となってきます。これらの課題に積極的に取り組みつつ、

## 高齢者の生活支援の充実

## 農業をはじめとした産業の振興

## 行財政改革の推進

## 議会議員の定数削減

## 議会改革

を押し進めます。  
自立の道を選んだ小布施町を更に発展させるため、頑張っていきます。



# 小西和実

(林・33歳)

## 小布施の未来のために行動していきます！

若手議員として4年間の経験を積み重ねました。地方政治の世界にもやはり若者が必要です。若い私の活力を町政に傾けさせてください。

小布施町は観光や様々な事業への取り組みが、全国的にも注目されていますが、本場に町民が必要としている事は何なのでしょう。小布施に住み、はたらく、町民の一人として、本場に必要なのは何かを考え、行動していきます。

● 幼い子供を持つ一人の親として、子育て現役世代の視点で、より子育てのしやすい町にするための取り組みをしていきます。

● 子どもとお年寄りがずっと安心して暮らせる町にするために、地道な活動をこれからも継続していきます。

● 30年後も小布施町が活力ある町であり続けられるために取り組みをしていきます。

【略歴】1981年生まれ。小布施中学校卒。長野日本大学高等学校卒。明治大学経営学部卒。大学卒業後、小布施に戻り就職。2010年よりNPO法人共生舎(宅幼老所めぐみ)の役員として法人運営に携わる。のちに同法人理事長に就任。介護福祉士として通所介護と病後児保育の実務にも関わっている。昨年8月、小布施駅前に、地域のための喫茶店TSUMUGICAFEをオープンするなど公私ともに小布施町活性化のための活動を行っている。●小布施町教育委員会スポーツ推進員5年●小布施町消防団 団歴10年●小布施町議会議員(1期)／政策立案常任委員会副委員長



略歴

元小布施中学校PTA会長

元小布施町農業委員

元須坂警察署協議会委員

前町議会政策立案常任委員長

現町議会運営委員長

# 川上健一

(六川 62歳)

## 町に笑顔と活力を

抱負

- 一、災害に強い安心・安全な町づくり
- 一、雇用創出で若者に明るい未来を
- 一、異業種間交流・連携で農工商の活性化を
- 一、子育て環境の充実と医療体制の整備拡充を
- 一、高齢者が安心できる福祉の充実を



# 山岸裕始

無所属

## 宣言

私、山岸裕始は…  
「若い世代と中高年世代」「町民と行政」「住民と来訪者」それぞれの立場を理解し、結びつけていくための『架け橋』となります！

## 行政に対する基本姿勢

- 1 有識者の見解のみに頼らず、住民と対話を重ねて方針・計画を策定
- 2 成果の報告をし、新規事業・拡充事業と同数の事業の整理・廃止
- 3 派手な事業・イベントに傾注せず、日常的な町民のボラントリーな活動にしっかりと目を向ける

## 政策

- 1 昔からの小布施町民も新しい小布施町民も楽しく暮らせるまちづくりを目指します。
- 2 日本全国に発信できる、より「魅力あるまち」を目指します。
- 3 農家の跡取りとして「農業ブランド」の確立、また起業家として「産業振興」に力を注ぎます。



「わたしのモットー」  
「ひとこ一役  
みんなが主役」で  
明日のまちづくり

# 小林茂

(飯田・七十三歳)

少子高齢社会では、行政や社会保険などのサービスには限りがあります。町民すべてが身の丈に合った役割を担い、支えあって暮らせる「仕組み」が今こそ求められています

《わたくしの抱負》

- ◎道の駅・総合公園・周辺地の有効活用で、交流による農村部の活性化と後継者づくり
- ◎超高齢社会に呼応した、医療福祉政策の充実と地域の支えあいによる在宅看護・介護システムの充実
- ◎働きながら安心して子供を産み育てることのできる、ゼロ歳から幼児小中一貫支援制度の充実と豊かな感性を育む教育環境の充実
- ◎女性の社会参加と地位向上の推進
- ◎自然環境を大切に循環型地域社会の実現の取組み



# 小林一広

(無現・林・農業・57歳)

## 「光」が見える

## 町づくり

「光」とは皆様の「元氣」であり「希望」です。

- 一、農工商連携による産業の活性化
- 一、地方創生に努め定住促進を実行
- 一、自然再生エネルギーの積極的利活用
- 一、災害に強い町づくり
- 一、子供から大人まで安心できる教育・福祉・医療の充実
- 一、国道403号の早期整備実現





**子育てと教育**  
育み、伝えるということ  
安心して子供を生み育てられる、子育て支援・長野県で一番を目指します。コンパクトな小布施町の特性を生かし、無駄をはぶいて一貫性を持たせた、幼保・小・中学校の一貫教育を実現し、どこに巣立って行っても郷土・小布施を想う心を持ち続ける「知育・徳育・体育」のバランスがとれた子供を育む環境を整えます。

**知恵共有**  
私は本気で取り組みます  
この町や小布施人のために

**小沢あきら**

**若者の定住促進** 働き、支えるということ

多くの若い世代が住む活気に満ちた小布施町にするために、新規就農者支援制度や起業家支援制度等を活用して、新規定住者を呼び込みます。地場産業以外にも小布施には若者が定住したくなる「魅力」があります。若者会議の開催など様々な交流事業をサポートしてまいります。

**産業の振興** つくり、伸びるということ

紅いリングに甘いブドウ、黄金色の稲穂は小布施農業の基です。小布施町にとって緑豊かな田園風景は大切な観光資源でもあります。今後は都市との交流をキーワードにワンステップ上のブランド化に取り組みます。小布施町にも優れた企業が沢山あります。地域経済の活性化のためにも町内の各種企業が潤うような政策の立案をします。

**福祉と医療** いたわり、助けるということ

今日まで日本経済を支えてきた高齢世代の方々に、小布施で暮らしていただくと感じていただけるように、新生病院を中心とした「健康と安心」「いたわりと助け合い」のネットワークづくりを推進して、いつまでも「いきいき」とした生活を送れるように努力します。

**知恵の共有**

今までの経験 老若男女共に動き

**議会改革** 動き、応えるということ

これまで、議会の通年化や政策立案常任委員会の新設、反問権及び一問一答形式の導入、議会基本条例の制定等、全国トップレベルの議会改革を先頭に立てて推し進めてきました。今後はこれまでに以上に議員の資質の向上を図るために力を尽くし、町民の皆さんの負託に応えてまいります。



略歴

須坂高校卒・明治大学大学院修  
元高校講師・元民生児童委員  
元主任児童委員・元いじめ不登校対策委員会委員長  
現社会福祉法人理事・現祥雲寺住職  
現町議会議員二期目

**渡辺げんじ**  
(無所属)

抱負

- 国道403号歩道改修工事早期着工への尽力
- 高齢者福祉の充実
- 子育て支援と学力向上
- 農業を中心とした総合産業力の強化
- 町民益の視点から町政の厳格なチェック
- 地域の課題を鋭敏に探るとともに、町民の要望を丁寧にくみ取り、政策に反映
- 議会改革として、定数2名削減、常任委員会の見直し、広聴機能の充実



略歴

東京農工大学農学部卒  
現小布施町議会議員  
現リトルリーグ信越連盟理事長  
前小布施町議会副議長  
前小布施町少年硬式野球連盟会長

新しい時代を切り拓く  
明るく元気な町づくり

**関谷あきお**  
(無所属・東町・66歳)

抱負と決意

- ◎ 活力ある農・商・工・サービス業の発展と連携、意欲ある後継者・起業者の育成による特色ある産業振興
- ◎ 家庭教育・学校教育・地域教育が一体となり、子どもたちの健やかな成長とともに学ぶ力の育成
- ◎ 健康で安心して暮らせる医療・福祉・介護の充実と支えあう地域社会の実現
- ◎ 省資源・ごみ減量・環境保護・温暖化防止で、環境にやさしい地域社会づくり
- ◎ 小布施町の伝統ある歴史文化財の保全と継承、さらに新たな文化資源の創出



略歴

明治大学卒業  
元 新生病院総務課長  
元 アラ・小布施企画部長  
現 町議会社会文教常任委員長

**関悦子**

「子育て」「思いやり」「次世代」を  
キーワードに行動します

子どもたちの持つ能力を十分に発揮できる  
環境づくり

若者がいきいきと暮らし、誇りの持てる  
まちづくり

安心して老いを迎えることのできる地域  
社会の実現  
交流と学び合いで豊かな文化の創造を



こばやし まさこ

**小林正子**

日本共産党 町議五期 六六歳

日本国憲法を守り、しっかりと暮らしに活かします。平和であってこそ、くらしも福祉も子どもの健やかな成長もあります。そのためには、「憲法九条をまもる」町民の共同をひるげるために働きます。地方自治の本旨に立ち、住民のくらしと福祉、健康を守るために全力をつくします。

私のお約束

- 原発再稼働させず 自然エネルギー利用を進めます。
- 戦争立法許さず、憲法九条を守る声をひびかせます。
- 子どもと障がい者の医療費を「窓口無料」にします。
- 第二子・三子の保育料減免、五才児は無料にします。
- 若者定住に家賃を補助します。
- 高い国保税を引き下げます。
- 介護保険料・利用料の減免を拡充します。
- 障がい者の福祉利用料を無料にします。
- だれでも乗れる巡回バスを本格運行します。
- 住宅・商店リフォーム助成を拡充継続します。
- 小規模事業者への発注を促進します。
- 奨励作物に町独自の支援を強めます。
- 農家・商工業者が持続できる後継者支援を強化します。
- TPP、農協「改革」に反対します。
- 新生病院の医師確保につとめます。
- 千曲川・松川の堤防を補強整備します。
- 水路の豪雨対策、フェンスやフタを整備します。
- 栗の木歩道は全廃、安心して歩ける歩道を整備します。
- 公衆・公共トイレの男女入口別、洋式化を進めます。



略歴

小布施小・中学校卒  
長野高等学校卒  
新潟大学工学部卒  
現 北信光音株式会社勤務  
現 小布施町監査委員  
現 小布施町議会議員・副議長

**大島たかし**  
無所属 (63才)

**未来の小布施を想って**

- 3つの重点提言
- ① 災害に強いまちづくり
  - ② 健康維持の為の生涯スポーツ推進
  - ③ 行政への厳しいチェック

6つの基本政策

- ① ふるさと納税推進による税収アップ
- ② 少子・超高齢時代の福祉充実
- ③ 商工業・農業の振興と発展
- ④ 生み育てやすい子育て支援
- ⑤ 地球に優しい環境への取組
- ⑥ 親しみやすい行政、行財政改革

「議会は町民のためにある！」  
を基本理念として、意欲的に議会改革を推し進めてまいります。